

平成30年度（第1期） 事業計画及び予算

設立日から平成31年3月31日まで

銚子電力株式会社

平成30年度（第1期）事業計画

平成30年度は、銚子電力株式会社設立の初年度であり、事業期間は、設立日から平成31年3月31日までの変則的な事業年度となる。

はじめに

銚子市は、全国的に見ても日射量、風況ともに恵まれ、各所に太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギー発電設備が点在している。

再生可能エネルギー発電事業は、太陽光発電を中心に、FIT制度が制定された平成24年7月以降普及が進んだが、制度上、発電された電力は東京電力などの旧一般電気事業者へ売電され、必ずしも地域へ還元されてこなかった。

このような状況の中、地域で生み出されたエネルギーは地域で使うべきとの機運が高まり、平成28年4月の電力小売全面自由化も相まって、地域に根差した新電力事業者が数多く生まれている。

銚子電力株式会社では、市外に流出する電力を地域内で消費する再生可能エネルギーの地産地消の取組などを通じ、地域内での資金循環による地域活性化や電力事業における利益の地域還元を図ることを目的とする。

1 年度事業計画の概要

平成30年度は、公共施設及び法人に対する電力供給のほか、平成31年4月からの一般家庭向けへの電力供給開始を目指し、小売電気事業者登録手続や電力調達元との交渉、運営体制の整備に取り組む。

また、事業目的の一つである事業収益の地域還元を目指し、地域還元策の検討・構築に取り組む。

2 事業計画の項目

平成30年度の事業の柱としては、上記の基本的考え方に留意しつつ、次の事業を行う。

- (1) 小売電気事業及び再生可能エネルギー事業の運営体制の整備
- (2) 再生可能エネルギー発電事業者に対する営業活動の実施
- (3) 公共施設に対する電力供給の実施
- (4) 法人に対する営業活動の実施
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

平成30年度（第1期）予算

〔平成30年6月26日から
平成31年3月31日まで〕

銚子電力株式会社

(単位：千円)

勘定項目	金額	備考
売上高	146,724	電力料金
市施設	134,919	市の保有する施設への供給
高圧	11,805	一般事業者への供給
売上原価	143,536	電力仕入れ
売上総利益	3,188	
(売上高総利益率)	2.2%	
経費合計	8,750	
広告宣伝費	2,230	チラシ、ホームページ作成、バナー製作等
支払手数料	70	口座振替手数料等
人件費	4,440	取締役、従業員
減価償却費	190	車両、PC
通信費	120	
リース代	90	プリンター
その他経費	1,610	旅費交通費、消耗品、業務委託費
営業利益	△ 5,562	
(営業利益率)	△ 3.8%	
営業外利益	14	
経常利益	△ 5,548	
法人税、住民税および事業税	160	
税引後当期利益	△ 5,708	